



## ○ ミュージックセキュリティーズ株式会社と業務連携・協力に関する覚書を締結：中南米地域における「共感性」に支えられたフィンテックの活用に向けて

2017年12月22日

国際協力機構（JICA）は、12月22日、JICA本部（東京都千代田区）において、フィンテック（注1）企業とは初めてとなる業務連携・協力に関する覚書を、ミュージックセキュリティーズ株式会社（MS社）との間で締結しました。署名式には、小松真実代表取締役、前田秀JICA理事が出席しました

開発途上国の抱える課題が高度化・複雑化し、多様な支援ニーズが膨大にある中、持続可能な開発目標（SDGs）においてパートナーシップの強化が掲げられており、JICAは民間企業との連携協力を一層進めています。フィンテックについては、先進国のみならず開発途上国においても、包括的な金融サービスの効率的な普及促進に役立つことから関心が高まっています。



署名式の様子

MS社は、2001年の設立以来、「『金融』を通じた、新たな価値の提供」を目指して、個人投資家から少額の出資を集めてインパクトファイナンスを行うマイクロ投資クラウドファンディング（注2）のプラットフォームを運営しており、日本国内で新たなふるさと投資（注3）の仕組みとして活用が進んでいます。JICAは、2017年6月まで約1年に渡って米州開発銀行（IDB）の多数国間投資基金（MIF）と共同調査を実施し、このマイクロ投資クラウドファンディングの仕組みを中南米地域の中小零細ビジネス支援に活用できないか検討しています。

本覚書の締結により、中南米地域の経済社会開発に役立つ商品や技術を持つ中小企業等の発掘とともに、それら中小企業等による中南米地域へのビジネス展開、中南米地域の日系人及び日系人が経営する企業等との連携・協力、日本の個人投資家に対する情報発信などの促進に役立つものと期待されます。

（注1）フィンテック：IT（情報技術）を活用した革新的な金融サービス事業。  
「金融（Finance）」と「技術（Technology）」を組み合わせた造語。

（注2）マイクロ投資クラウドファンディング：個人投資家がインターネット上のプラットフォームを介して、特定の事業者に対し直接的に少額から出資する、投資を通じた社会貢献の仕組み。

（注3）地域資源の活用やブランド化など、地方創生等の地域活性化に資する取り組みを支えるさまざまな事業に対するクラウドファンディング等の手法を用いた小口投資であって、地域の地方公共団体等の活動と調和が図られるもの。

● [ふるさと投資（内閣府）](#)